

## 記入例

橋区権利擁護部会「事例勉強会」様式

## 事例検討書

事例タイトル	知的障がい者が美術館を利用する際のマスク着用について
事例種別	<input checked="" type="checkbox"/> 障がい者差別 <input type="checkbox"/> 障がい者虐待
※虐待の種類 (虐待の場合)	<input type="checkbox"/> 養護者虐待 <input type="checkbox"/> 施設従事者等虐待 <input type="checkbox"/> 使用者虐待
発生時期 (いつごろか)	<input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 令和 2 年 10 月ごろ

## &lt;本人情報&gt;

年齢	50 歳代	性別	男性
障がい種別	<input type="checkbox"/> 身体（ <input type="checkbox"/> 肢体・ <input type="checkbox"/> 視覚・ <input type="checkbox"/> 聴覚・ <input type="checkbox"/> 音声言語・ <input type="checkbox"/> 内部、 <input type="checkbox"/> 級） <input checked="" type="checkbox"/> 知的（ 2 度） <input type="checkbox"/> 精神（ <input type="checkbox"/> 級） <input type="checkbox"/> 難病 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ） <input type="checkbox"/> 手帳なし <input type="checkbox"/> 不明		
その他	・家族構成 ・経済状況 ・利用サービス区分 ・雇用形態 等 不明		

## &lt;事例概要&gt;

経緯	<ul style="list-style-type: none"><li>・相談、通報等の状況 ・事実確認した場合、その状況 ・検討した内容、方向性 ・実施した対応、支援内容 等</li><li>・本人の養護者から、以下について相談を受けた。</li><li>・美術館を利用する際、美術館職員からマスク着用を義務付けられたとのこと。</li><li>・本人は感覚過敏の障がい特性があるため、マスク着用が困難である。美術館職員へその旨伝えしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、マスクを着用しないと利用できない旨、利用を断られた。</li><li>・本人は、なぜマスクを着用しなければならないのか、コロナの脅威について理解できていないとのこと。</li></ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在もその美術館は、マスク着用の方針を変えていない。</li><li>・本人の養護者は、美術館の主張を理解はしているが、気持ちが晴れていない様子。</li></ul>

## &lt;提供者による自己分析&gt;

評価点	<ul style="list-style-type: none"><li>・差別を隠さずに、しっかりと相談してくれた。</li><li>・私も、具体的なアドバイスはできなかったが、親身に相談を受けた。</li></ul>
課題点・反省点	<ul style="list-style-type: none"><li>・具体的なアドバイスができなかった。</li><li>・どこに相談すればよいか、わからなかった。</li></ul>

## &lt;勉強会で検討したいポイント&gt;

他部会員に伺いたいこと・悩んだこと 等	<ul style="list-style-type: none"><li>・美術館の対応について、部会員の見解を伺いたい。</li><li>・どのようなアドバイスができたか。</li><li>・相談先はどこがあるか。</li></ul>
---------------------	---